

羅針盤



2018年11月2日(金) 第65号

「楽観主義とは、物事を成し遂げられるという信念です。希望と自信なくしては、何も達成できません」

(ヘレン・ケラー (1880 ~ 1968))

地域づくりの主人公としての経験に

～「市政への提言 2018」提言発表会(10/31)～

4月から「総合的な学習の時間」を活用して取り組んできた『市政への提言』。費やした「時間」は18時間(分科会ごとの「発表会(代表選考会)」も含む)。中には、夏休み中に学校の外に調査に出かけたり、発表に向けては放課後だけでなく昼休みや朝も使ってパワーポイントの作成に取り組んだ班もたくさんありました。10月31日(水)の午後の授業時間すべてを使い、各分科会(分散会)代表提言の発表会を行ないました。発表会には、品川萬里市長をはじめ、郡山市役所から14名もの職員の方々に来ていただき、丁寧な講評をいただきました。多数の保護者の皆様にも参観いただくことができました。忙しいなか、ありがとうございました。



どの班もパワーポイントを使い、効果的なプレゼンテーションとなるよう工夫を凝らしていました。現状に対する厳しい指摘や、オリジナリティあふれる若者らしい発表もありました。各班の発表後に質疑の時間を設けました。鋭い質問に窮する場面もありましたが、そこからも学び取るものがあつたのではないのでしょうか。

開会行事での菅野校長のあいさつのなかで「地域づくりの主人公になってほしい」ということばがありました。それこそが今回の取り組みの狙いです。今後も、自分を取り巻く地域や社会に目を向け、生活しやすい地域、よりよい社会をつくる主人公になって欲しいと思います。それこそが主権者としての力を発揮することだと考えます。「提言づくり」の取り組みは、良い経験になったことと思います。



「発表会」の様子は11月11日(日)17:55～18:00『郡山市週間トピックス』(KFB)で放映予定です。

《5組の皆さんに、たくさんの“投稿”をいただきました。今回は修学旅行に関するものを紹介します》

○ 佐久間 貴子

広島での被爆体験の話聞いて、私達が今想像することができないようなことが8月6日の広島で起き、また世界中には核がまだたくさんあり、同じようなことが起こりうるということを知り、すごく恐怖を感じた。日本は世界で唯一の被爆国として、核の恐ろしさを、広島や長崎のことを語り継ぎ、核廃絶に向けて世界の先頭に立っていく責任があると思った。そしてそれは、これからの世の中を担う私達がしなくてはならないことだと感じた。

○ 佐藤 亜美

修学旅行で京都・奈良・広島に行き、本物に触れ、貴重な体験をすることができました。特に広島では、原爆ドームを見学し、実際に被爆した方から話を聞くことができ、私たちも聞いた話を次の世代に語り継いでいきたいと思いました。

○ 鈴木 凜

私は、修学旅行に行き、今までも思っていた国際関係に関わりたいということ、改めて強く思いました。外国人がたくさんいて、お話しすることは少なかつたけれど、とても楽しく良い経験ができました。この経験を将来に生かしたいです。

○ 佐久間 若菜

修学旅行では、いろいろな体験をしました。一番心に残っていることは三日目の班別自主研修のときに、外国人に道を聞かれたことです。知らない土地で聞かれたので、近くの店員さんに聞きに行き教えました。しかし、思うように話せず、とても大変でした。私は英語がとてとても苦手ですが、今後さらに外国人観光客が増えることを考えると、英語は話せた方がいいなと思いました。頑張ろうかなと思いました。

11月	曜日	行事等	週末課題等の予定	朝学習
3日	土	進研模試 「文化の日」	国・数	
4日	日			
5日	月		国提出	数学
6日	火	芸術鑑賞教室(授業3校時)	数Ⅱ提出	英語
7日	水	薬物乱用防止講話		国語
8日	木		数B提出	総合
9日	金	甲状腺検査		英語
10日	土	大学共通テスト(プレテスト)(申込生徒)	数・英	
11日	日			
12日	月		英提出	数学
13日	火		数Ⅱ提出	英語
14日	水	《考査一週間前：部活動制限期間》		考査に向けて
15日	木	EU出張授業『EUが黎明にやってくる』	数B提出	
16日	金			
17日	土			
18日	日			

○ 八島 智美

初めての京都。昔の建物、風景。とても時代を感じた。修学旅行で行ってみて、改めて歴史に触れるのもいいものだった。次回行くことがあったら、ゆっくり、じっくりと京都の歴史に触れたいと思う。

◆11/15(木) 『EU出前授業』という企画で、フランス大使館一等書記官の方が来校し、講演を聞く機会があります。乞うご期待。